

一般会計補正予算の算定

一般会計の補正で新型コロナウィルス感染症対応医療支援費等費金25万円の減額は、外来診療・検査等に従事した医師及び看護師、1千人に5万円計上したものの申請が99.5%入ったと説明。20年に5千万円を付された塚本治雄さんが21年に3億円を附した際、朝日新聞が「医療従事者に支援の3億円」と報じた。5

千万円という配分額は少なすぎるのでは? 岸田政権が着意、介護・保育、幼児教育などで働く方々の賃上げを打ち出した。20万円まで国が全額補助。私立の保育園、認定こども園など300万円を予算計上。公営も対象にも関わらず和歌山市は放置。全国では34の自治体は公営でも予算上では未対応です。

2月定例市議会代表一般質問事項

順	議員名	質問事項
1	中谷謙二 (自由民主党)	・みどりの食料システム戦略について ・新型コロナウィルス感染症について
2	中尾友紀 (公明党)	・新型コロナ対策について ・IR(統合型リゾート施設)について
3	松井紀博 (政和クラブ)	・教育行政について(私立高校の将来構想に関して)
4	坂口夕美子 (日本共産党)	・市長の政治姿勢について(新型コロナ対策、IR、みどりの食料システム戦略)
5	山本忠相 (民主クラブ)	・市長の政治姿勢について(R4年度当初予算編成の基幹理念など)
6	尾崎方哉 (若狭クラブ) (自由民主党)	・和歌山市のまちづくりについて



↑ 【代表質問】

↓ 【一般質問】

1	森下まゆ子 (日本共産党)	・教育行政について(中学校給食について) ・新型コロナ対策について
---	---------------	--------------------------------------

☆当初議案に対する質疑は井本ゆういち議員が行います。

日本共産党 オンライン 演説会 YouTube 配信
3月20日(日) 14:00~
小池 晃 書記局長が お話します。
大門みよし 後援者

日本共産党

日本共産党が府議会に提出した補正予算案は、府民の生活に直結する施策が盛り込まれている。中でも、子育て支援や高齢者の介護負担軽減に重点を置いている。府民の声に応える姿勢が評価されている。

補正予算案の総額が2020年度より約100億円増額されている。これは、府民の生活に直結する施策が盛り込まれているためである。中でも、子育て支援や高齢者の介護負担軽減に重点を置いている。

府議会では、2月20日(水)に本議案を審議する予定がある。議員らは、市民の声を代弁して、政府に対し、予算案の採択を強く要望している。

「子育て支援」に関する特別委員会設置の検討

2月8日の市議会「人事特別委員会」の質疑応答の中で、議員から「子育て支援に関する特別委員会」の設置を要望する声が出た。市側は、現在、子育て支援に関する施策を推進しているが、議員の要望に応える必要があると認識している。

特別委員会の設置は、子育て支援に関する施策の推進に大きく貢献する可能性がある。議員らは、子育て支援に関する施策の推進に積極的に取り組むよう要望している。